

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人たつき会

1. はじめに

■法人事業概要

事業所名

介護老人福祉施設スミール桜ヶ丘

事業開始日

平成 27 年 12 月 1 日

第一種社会福祉事業

特別養護老人ホーム事業 (定員)100 名

第二種社会福祉事業

老人短期入所事業 (定員)10 名

■介護業界を取り巻く状況

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のまん延により、介護・福祉事業者及び従事者にとって、かつて経験したことがない大変な一年となりました。幸いにもスミール桜ヶ丘では、入居者様・職員ともに感染者なしで令和2年度を終えることができました。しかしながら、私どもの事業運営への影響は甚大で、今まで当たり前のようにおこなっていた業務上のやり取りやサービス提供方法について、感染症対策を徹底するために一つ一つ見直さざるを得ませんでした。施設行事においては縮小や中止の判断をせざる得なく、またご家族様の面会や訪問を制限させていただいていることについても、大変窮屈な思いとご迷惑をお掛けしていることを心苦しく思っております。必要不可欠な衛生用品についても、値段の高騰にとどまらず、手に入れることもできない事態には大変困惑いたしました。感染症対策のみならず、令和2年7月豪雨のような自然災害への対策の取り組みを進めていくことも求められています。一方で、このようなコロナ禍という状況だからこそその取り組みがサービス向上に繋がったものや、これからの施設運営の新しい展開に期待できるものも発見できました。

団塊の世代が75歳となるいわゆる2025年問題まであと4年に迫っているなか、私どもも最良のサー

ビス提供を目指していくことと、長期の事業継続を意識して運営にあたる必要があります。

お陰様でスミール桜ヶ丘は昨年12月に5周年を迎えることができました。令和2年度は施設長の交代もあり、新たな体制で今後益々変化する介護ニーズへの対応強化を目指していきます。

禍という語を使った四字熟語に「転禍為福」(てんかいふく)という「災い転じて福となす」という意味の言葉があります。残念ながら感染症対策には引き続き厳しい状況が続きますが、この危機を将来に活かしていく好機と捉え、前向きな法人・施設運営を心掛けていく所存です。

最後になりますが、ドミノピザ社からの2度にわたるピザ無償提供をはじめ、さまざまな団体から物資供給のご支援をいただいたことをご報告させていただくとともに、職員一同感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症による主な影響

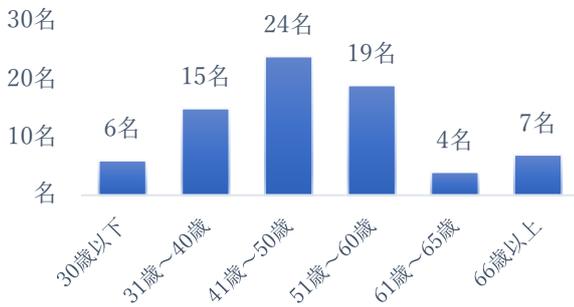
緊急事態宣言発令(4月)	面会制限(令和2年2月~)
緊急事態宣言発令(1月)	勤務中のマスク着用義務
外部業者の立入制限	オンライン面会開始
衛生用品の高騰や不足	“3密”を避ける行動
外部研修の中止	活動範囲の制限
保育園の閉鎖による出勤困難	新規利用者の受け入れ制限

2. 職員状況(令和3年3月31日現在)

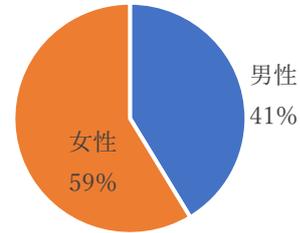
	施設長	介護支援専門員	生活相談員	管理栄養士	機能訓練指導員	看護職員	介護職員	介護補助員	事務員	環境整備	宿直員	合計
職員数	1	2	2	1	1	10	45	1	3	5	4	75

※職員数は非常勤(パート職員)を含む

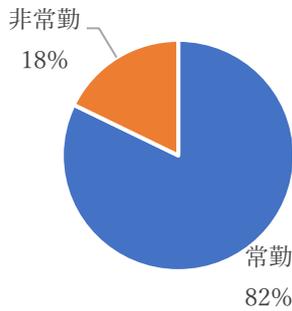
職員年齢構成



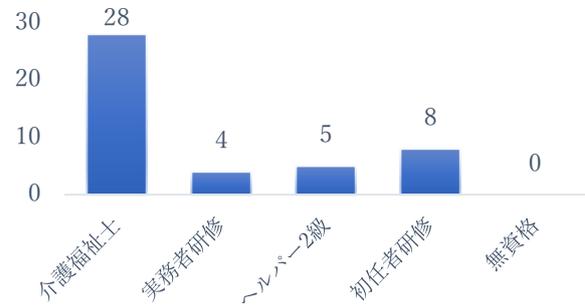
職員男女割合



常勤/非常勤割合(介護職員のみ)



資格者構成(介護職員のみ)



3. 行事

4月	お花見
5月	母の日会
6月	父の日会
7月	七夕まつり
8月	夏祭り

9月	敬老会
10月	運動会
10月	ハロウィン
11月	文化祭
12月	5周年祭

12月	クリスマス
1月	お屠蘇
2月	節分
2月	バレンタインデー
3月	ホワイトデー

4. 令和2年度介護老人福祉施設スミール桜ヶ丘事業目標実績報告

I 入居者本人の選択と意思決定のもとに行われる自分らしい明るい生活を支援できるように取り組む

新型コロナウイルス感染症の影響は、ご入居者様への支援やご家族様とのやり取りにおいても方法を一変させてしまいました。ご家族の来所を制限し面会は原則オンラインでの実施としたことは、その大きな事柄の一つです。感染防止策から家族の参加が難しかったサービス担当者会議は、書面でのやり取りが増えたことにより、これまで面談では得られなかった家族の具体的な意向を確認できるケースもありました。多職種連携の取り組みとして、従前より行っていた医師、歯科医、眼科医や外部の作業療法士との連携体制の確立と、提携先を変更した薬局との関係を構築したことで、入院中を含めた情報共有ができて安定的・継続的なサービス提供につながりました。今後はオンラインでの協議も可能となり更に効果的な連携が期待できます。また個別の食事・口腔ケアに関する観察ファイルを導入しより多くの職員によるアセスメントを可能としました。

季節行事は感染防止策が徹底できる範囲で工夫して行っています。その中で大和市文化祭に出展した書道クラブの作品は市長より御礼状を頂いております。これらを含め施設での取り組みを7月にリニューアルしたホームページを活用して広くお知らせしています。

来所をご遠慮いただいているご家族様との電話によるご本人の状態の報告連絡を今まで以上に心掛けたこともあり、誤解や対応方法の行き違いによる苦情件数が減少したものと考えられます。

このように感染症対策のため、従来の取り組みができなくなってしまったことが多々ありますが、コロナ禍だからその工夫による取り組みが、サービス提供において好転した例も少なからず構築できました。

■サークル活動／実演調理

サークル名	主な内容	実施状況
書道	作品は施設掲示のほか、大和市文化創造拠点シリウスで発表されました。	43回
ラジオ体操	生活機能訓練の一環として毎日同じ時間に全館放送をして体力維持と健康保持を図る。	365回
Enjoy Cooking	入居者様自ら具材を切ったり、簡単な調理をして、出来上がったものを召し上がっていただく。	4回
バイキング	ケーキなどのデザートを自由に選んでいただく機会をおやつの時間に提供する。	3回
囲碁・将棋	感染対策のため同じフロアの同士の個人戦による対局を楽しんでいただく。	随時

ベタンク／カラオケ／阿波踊り体操／オカリナ鑑賞は新型コロナウイルス感染防止策のため中止としました。

■苦情・相談受付

時期	区分	内容	申立人	対応
9月	ショート	義歯を紛失	家族	謝罪と義歯代及び治療費を施設負担とする。
9月	特養	本人からの差し入れ依頼内容について	家族	ご本人への誤解解消と家族への事情説明をする。
10月	特養	職員の連絡対応について	家族	連絡調整不足を謝罪する。
10月	特養	返却すべき生花を破棄	家族	ご家族に謝罪をする。
12月	特養	入所契約時の情報共有について	家族	契約時の情報共有の方法を再構築する。

II 入居者の尊厳を保障し高い専門性を持つ職員を育成するとともに自ら自己研鑽に努める

職員教育の実施に関しても難しい一年となりました。これまで積極的に参加していた外部のセミナーの多くが中止となっていますが、新たな形での開催が進んでいます。一堂に会する集団型の研修ができなくなった代わりに、移動時間がなく交通費もかからないオンラインでのセミナーが増えたことにより、効率的に様々な知識を得ることが可能となってきました。9月から再開した施設内研修においても、講師となる職員が予め録音・録画したものを視聴する形にすることで、対面による飛沫対策と時間の制約なく全職員が受講できる仕組みを確立しました。また不足する内容を書面配布の研修内容とすることで、一方的ではない自己研鑽型のスタイルを取り入れられました。

■施設内研修(スキルアップ研修)の開催

4月	感染対策のため中止	11月	事故発生の防止、及び身体拘束廃止について
5月	感染対策のため中止	12月	非常災害対策
6月	感染対策のため中止	1月	褥瘡予防
7月	感染対策のため中止	2月	認知症ケア
8月	感染対策のため中止	2月	メンタルヘルス(資料配付)
9月	非常災害対策	3月	感染症対策～新型コロナウイルス感染症～
10月	感染症対策～介護職員のための感染対策～	3月	事故発生の防止、及び身体拘束廃止(資料配付)

■主なオンラインセミナーへの参加

法人・施設運営
次期介護報酬改定の見直し(10月)／介護事業所におけるBCP策定(10月)／社会福祉法人の内部管理体制の実務課題への対応(11月)／在宅医療・介護連携推進事業研修会(11月)／令和3年度介護報酬改定の詳細と事前対策(12月)／社会福祉法人の経営力強化(1月)／管理者に求められる数字力(1月)／経営マネジメントオンラインセミナー(2月)
介護技術等の養成
低栄養と摂食嚥下(6月)／栄養士に求められる知識と役割(10月)／多職種連携による栄養ケアの実践(10月)／看護師のための排泄ケアセミナー(10月)／褥瘡予防セミナー体圧の工学的評価(11月)／経管栄養における物性の重要性(11月)／褥瘡と栄養管理(11月)／IADから考える褥瘡予防のための栄養療法(12月)／要介護者への口腔ケアを1から学ぶ(1月)／ユニットケアワンポイントセミナー(2月)／法的視点からみる苦情対応(2月)／管理栄養士・栄養士の現場はこう変わる介護保険施設編(3月)
新型コロナウイルス感染症対策
介護老人福祉施設(特養)のためのそうだったのか！感染対策(6月)／送迎の時のそうだったのか！感染対策(6月)／新型コロナウイルス感染症対策研修会(7月)／ICT・テクノロジーで支えるこれからの介護(10月)／新型コロナに負けない高齢者住宅・介護施設経営(10月)／冬場に注意すべき感染症と新型コロナウイルス感染拡大防止対策(11月)／感染拡大させない介護・福祉施設でのゾーニングのすすめ(1月)／感染症対策力向上のための研修教材配信サイト

III 人材の定着を図るとともに組織力の向上をさせるべく全員参加型の運営を目指す

前年度から参加している健康企業宣言において、全国健康保険協会様より健康優良企業として星5つの認定を頂きました。令和2年度はコロナウイルスの対策として、全職員に体温計を配付して健康管理の徹底と、ストレスケアへの留意に努めました。これらのこともあり離職を抑え高い定着率を確保できたことは、相次ぐ就職説明会や面接会の中止により通常の採用活動が厳しい状況下において、安定したサービス提供に寄与したものと考えられます。各種会議や委員会において多方面から議論をしたことで感染防止に繋がったと考えます。多職

種が対面で集まることを制限した期間は、書面で意見のやり取りをするなどの工夫をして、議事内容の質を維持するよう努めました。

尚、育児休業促進支援として令和2年度も男性介護職員2名が育児休業を取得しています。

■各種会議

会議名	参加者	実施状況	主な内容
職員会議	全職員	10回/年	施設運営に関する重要事項について情報の共有/新人職員紹介/研修報告/業務上の伝達事項
運営会議	施設長/役職者/専門職	9回/年	施設運営に関する業務進捗・結果等の報告と検討事項の意思決定/問題事項の改善議論
リーダー会議	係長/ユニットリーダー	4回/年	業務遂行に関する事項の情報伝達・意見収集
ユニット会議	介護職員/専門職	24回/年	各ユニット単位で入居者様それぞれについて個別のケア内容情報の共有
給食会議	施設長/管理栄養士/委託業者社員	12回/年	給食委託先社員を交えて適切な食事提供に関する協議
ケアカンファレンス (サービス担当者会議)	介護支援専門員/専門職/介護職員	107件/年	個々のよりよいサービス提供のために情報の共有や共通理解を図る

■委員会

委員会	実施状況	令和2年度の主な取り組み
入退所判定委員会	12回/年	入所の決定及び退所の検討を行い、待機者の方の入居順位を評価した。
褥瘡対策委員会	12回/年 (書面開催2回)	一人ひとりの評価に基づき、予防・悪化防止・治癒促進に取り組んだ。
感染症対策委員会	47回/年	コロナウイルスの情報収集と対策の実行、及び口腔衛生への取り組みを行う。
リスクマネジメント委員会	12回/年 (書面開催3回)	介護事故の原因・対策など記録の内容共有によりリスクマネジメントに役立てた。
安全衛生委員会	12回/年 (書面開催2回)	職場の定期巡視、産業医による指導強化、また健康優良企業と認定される。
身体拘束適正化委員会	8回/年 (書面開催1回)	身体拘束廃止に関わる個別の検討、及び権利擁護に関する研修開催。

IV 持続可能な施設運営を目指す

感染拡大の影響により新規の入居受け入れが困難だった時期がありましたが、体制を強化し稼働率の確保に努めました。介護報酬改定を控え、早期の情報収集と従前からの取り組みにより、スムーズに対応できることと考えます。開所より5年が経過したことで更新を迎えた契約事項は内容を見直し適正に行いました。

また、10月に実施された法人運営に係る社会福祉法人指導監査と施設運営に係る老人福祉施設指導監査においては、いずれも指摘事項なしとの回答を得られたことは、改めて健全な法人運営を確認できたと考えています。

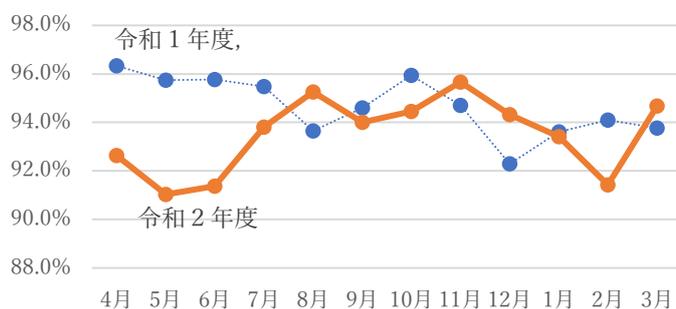
横浜市特別養護老人ホーム整備事業者に選定されています。令和5年4月の開設に向け、地域及び関係各

所と密接な関係を取り、将来にわたる安定した事業継続を図っていきます。

■稼働率推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ人数	2779名	2822名	2741名	2908名	2953名	2820名
稼働率	92.6%	91.0%	91.4%	93.8%	95.3%	94.0%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	2928名	2870名	2924名	2896名	2560名	2935名
稼働率	94.5%	95.7%	94.3%	93.4%	91.4%	94.7%

(参考)稼働率前年度比



	計	
	(R2年度)	(R1年度)
延べ人数	34136名	34646名
稼働率	93.5%	94.7%

■入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居	2名	3名	3名	2名	2名	1名
退居	1名	5名	3名	2名	0名	3名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居	2名	4名	2名	2名	2名	3名
退居	1名	4名	2名	4名	2名	1名

(参考)退居者数昨対比



	計	
	(R2年度)	(R1年度)
入居	28名	25名
退居	28名	26名

■法人監査結果及び施設監査

実施日	項目	監査の結果
令和2年10月7日	老人福祉法第18条第2項に基づく実地指導監査(施設監査)	指摘事項なし (令和2年11月2日付通知)
令和2年10月14日	社会福祉法第56条第1項に基づく実地監査(法人監査)	指摘事項なし (令和2年11月4日付通知)

■指名競争入札結果

入札執行日	件名	落札者
令和2年12月15日	(仮称)介護老人福祉施設スミール荏田新築工事に係る設計・管理業務委託	株式会社新環境設計

V 社会資源として地域の福祉ニーズを満たす総合的な取り組みに参画していく

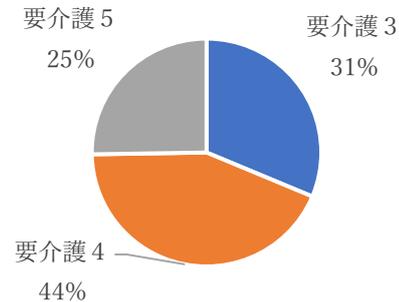
これまで積極的に行っていたボランティアや実習生の受け入れ、地域交流ホールの貸し出し、福祉教育への講師派遣、セミナーの開催なども多岐にわたり感染対策のため実施を見送りました。このような中、大和市の美化推進クリーンキャンペーンへの参加など、可能な限り地域への貢献に努めています。また、大和市高齢協の主催のもと、学生などに向けた「福祉の魅力を伝えるプロジェクト」に介護職員が参加することで、市内他事業所と共同で社会福祉に対する理解促進と認知向上に取り組んでいます。

5. 介護老人福祉施設スミール桜ヶ丘入居者状況(令和3年3月31日現在)

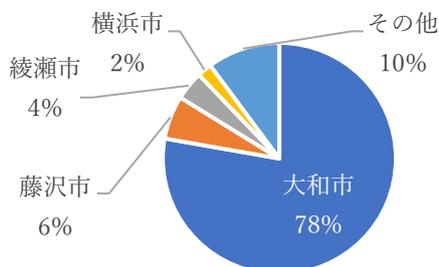
■入居者男女割合



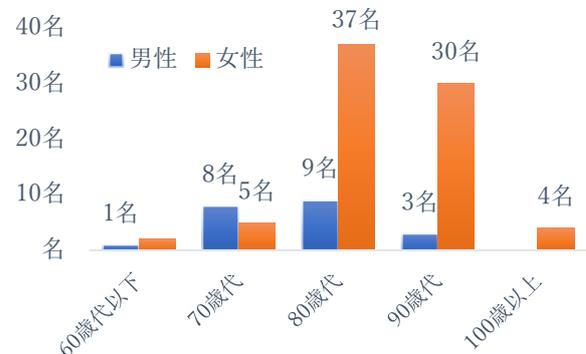
■入居者要介護度割合



■保険者別入居者割合



■入居者男女年齢別状況



6. 令和2年度短期入所生活介護スミール桜ヶ丘事業目標実績報告

I 利用者ごとに求められる多様性に対応すると共にその人らしい生活の継続を目標に活動できるよう支援

介護職を含む多職種が訪問して参加していたサービス提供者会議が、感染症対策のため参加者が限定される中、職員間での情報共有の強化に努めました。近隣に競合となるサービス事業所が増えていることから、利用者の獲得ため、また多様化する利用者の状態に対応できるようベッド柵やセンサーマットを追加することで受け入れの範囲を拡げました。このことにより個別ニーズに合わせたサービス提供を検討する機会も増えました。

II 利用者やご家族との信頼関係を深め継続的な利用につなげる

利用中を有意義に過ごしていただけるようレクリエーション等をユニット内で行いました。面会を制限している分、ご家族様や担当ケアマネージャーには、それらのことを写真や作品で報告をすることで関係性の継続に努めました。また、利用開始時の体調確認や一定期間の居室対応、定時の検温などの感染防止策を徹底することで、ご不便をお掛けしている面はあるものの、安心してご利用いただける環境づくりを心掛けています。

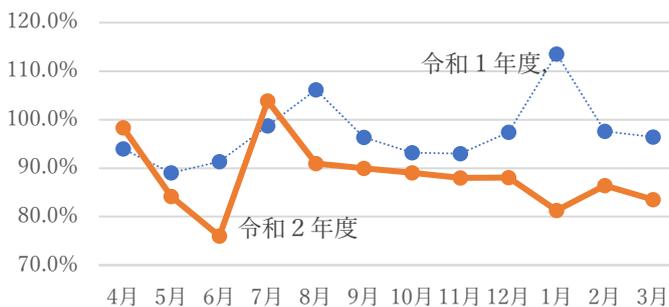
III 稼働率95%の確保

感染防止策と稼働確保の両立が難しい一年となりました。特に新型コロナウイルス感染症のまん延が始まり、緊急事態宣言が発令された時期には、新規の受け入れを制限したこともあります。その後も、サービス利用に不安がある方や、ご家族の在宅勤務が増えご自宅で介護が可能となるなどで、利用申し込みが減少したことも稼働率低下の要因となっています。これらのことは、今後の施設の安定運営において課題であると考えています。

■稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数	21名	17名	24名	25名	23名	19名
延べ人数	295名	261名	228名	322名	282名	270名
稼働率	98.3%	84.2%	76.0%	103.9%	91.0%	90.0%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数	22名	22名	23名	23名	19名	25名
延べ人数	276名	264名	273名	252名	242名	259名
稼働率	89.0%	88.0%	88.1%	81.3%	86.4%	83.5%

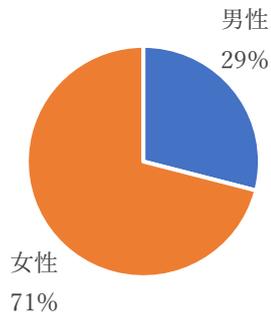
(参考)稼働率前年度比



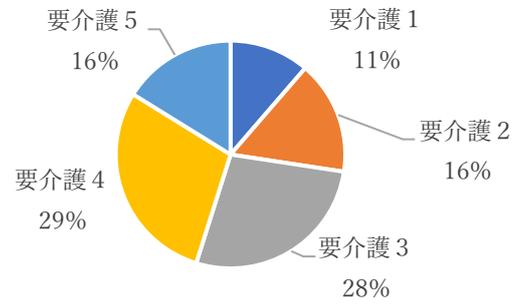
	計	
	(R2年度)	(R1年度)
実人数	62名	85名
延人数	3224名	3560名
稼働率	88.3%	97.3%

7. 短期入所生活介護スミール桜ヶ丘利用者状況(令和2年度)

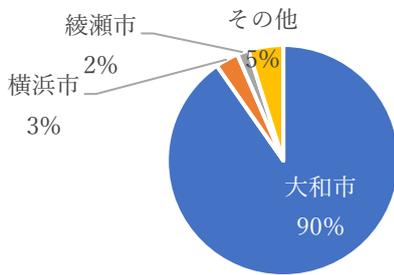
■利用者男女割合



■利用者要介護度割合



■保険者別利用者割合



■利用者年齢別状況

